

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：障害者福祉推進課
 担当名：自立支援医療担当
 内線：3295

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B34	精神障害者地域移行支援事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	精神保健費	精神障害者社会適応訓練事業費	
事業期間	平成14年度～	根拠法令	精神保健福祉法第2条 障害者総合支援法第2条		戦略項目				
					分野施策	020203 障害者の自立・生活支援			
<p>1 事業概要</p> <p>平成24年度からの制度変更に伴い、精神科病院の入院患者に対する地域生活への移行支援は市町村が実施主体となった。</p> <p>県ではピアサポーター（障害当事者）を活用し、障害当事者の視点を重視した支援の充実によって入院患者の退院意欲の向上を図り、病院から地域への移行を促進させる。</p> <p>国庫補助金額が見込みを下回り、事業を縮小したことによる減額。</p> <p>(1) 連絡協議会事業 226千円 (2) 地域移行ピアサポート委託事業 4,383千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容： ア 連絡協議会事業 1,855千円 イ 地域移行ピアサポート委託事業 13,312千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 連絡協議会事業 (ア)市町村連絡会 (イ)地域移行ピアサポート委託事業所連絡会 (ウ)保健所連絡会議等 イ 地域移行ピアサポート委託事業 (ア)地域移行ピアサポーター養成講座・地域移行ピアサポート講座 地域移行ピアサポーターを養成し、その有用性について関係機関職員に普及啓発するために市町村職員等と連携して講座を開催する。 (イ)地域移行支援グループワーク ピアサポーター及び地域移行ピアサポートコーディネーターが中心となって企画運営するグループワークを精神科病院等で実施することにより、入院患者の退院意欲向上を図り、地域移行を促進させる。</p> <p>(3) 事業効果 県によるピアサポーターを活用した事業の支援によって、精神科病院から地域生活への移行支援が必要な精神障害者に対する市町村等からの支援が円滑に提供される。 (事業実績) 地域移行者 平成22年度 274人 平成23年度 279人 平成24年度 288人</p> <p>(4) その他 国庫補助メニューから地域体制整備コーディネーター事業が廃止された。ピアサポーター（障害当事者）を活用することにより、長期入院者の退院意欲を向上させることが期待できるため、地域移行ピアサポート委託事業に事業内容を組み替えた。</p> <p>(5) 補正予算の概要 (1) 連絡協議会事業：国庫補助金額が見込みを下回り、事業を縮小したことによる減額。 (2) ピアサポート委託事業：国庫補助金額が見込みを下回り、事業を縮小したことによる減額。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>事業主体：県 負担区分：(国1/2,県1/2)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>(人件費) 9,500千円 × (0.1人) = 950千円 (組織等) なし</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	4,609	2,304					2,305	10,558	
現計額	15,167	7,583					7,584		